



砂浜の宝探し



海の漂着物から宝物を見つける

砂浜に打ち上げられている物から、自分の宝物を見つけるプログラムです。宝物を見つけ、海に対して愛着を持つことができます。

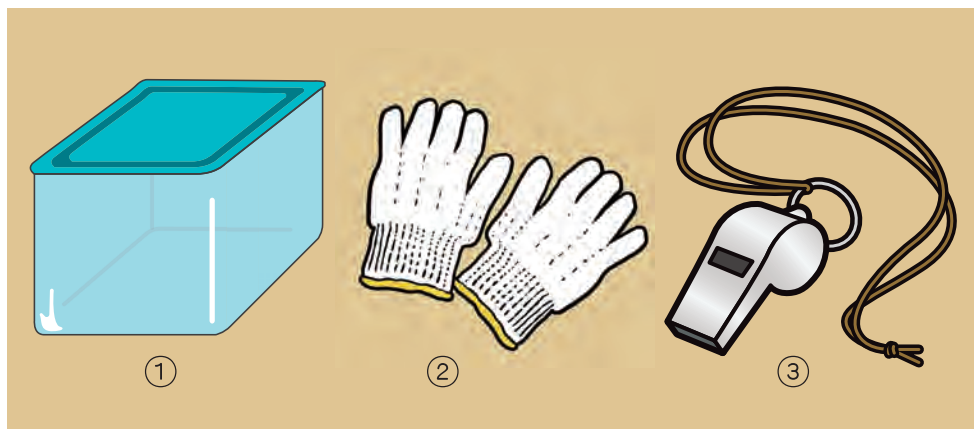
対象 幼児～小学生
場所 砂浜
時間 1時間

プログラムの前に…

1. 用意するもの

- ① 宝箱
収集用、100円のプラ箱など
- ② 軍手
- ③ 笛や鈴
参加者の集合時に使用

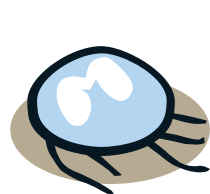
※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



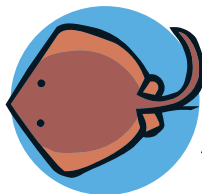
2. 事前の準備

危険を予測しよう

- ・海には危険な物や生物がたくさんあります。
- 現場の状況を把握し、危険を避けましょう。



死んだクラゲも毒針が！



アカエイ



注射器



ガラス



投棄されたガスボンベ

範囲を決めよう

- ・実施範囲の確認は必ず行いましょう。
- ・参加者の行動を把握できるように安全管理担当者を置き、参加者が夢中になってもはぐれないように注意しましょう。

プログラムの本番！

1. 参加者にルールを伝えよう！（約10分）

参加者がそろい挨拶を済ませたら、実施範囲と危険物について共有しましょう。実物や写真を使って危険物を説明すると、参加者にも伝わりやすくなります。

2. 宝物を探そう！（約40分）

宝探しの開始です。参加者は砂浜を歩きながら漂着物の中から宝物を探してください。同じ流木でも探してみると、生物や乗り物のような魅力的な形のものが見つかります。

スタッフは危険物に気を配りながら、参加者の発見を促してあげてください。
安全管理担当者は参加者の行動把握に努めて、はぐれる参加者がいないように注意します。
終了5分前に予鈴を行うと円滑に集合できます。



3. 私の宝箱！（約10分）

参加者が集まったら、実際に拾った宝物を自慢しあいましょう。その際は参加者一人一人に宝箱の中で一番の物を紹介してもらい、スタッフはその感性や発見をほめてあげてください。自分の宝物の価値観を共有することで、より宝箱が魅力的な物となります。



ココがポイント

こんな宝物が見つかるかも

砂浜の漂着物には以下のような面白いものがたくさん落ちています。

スタッフも事前に宝箱を作って実施前に披露すると、参加者の探す意欲を高められるかもしれません。

